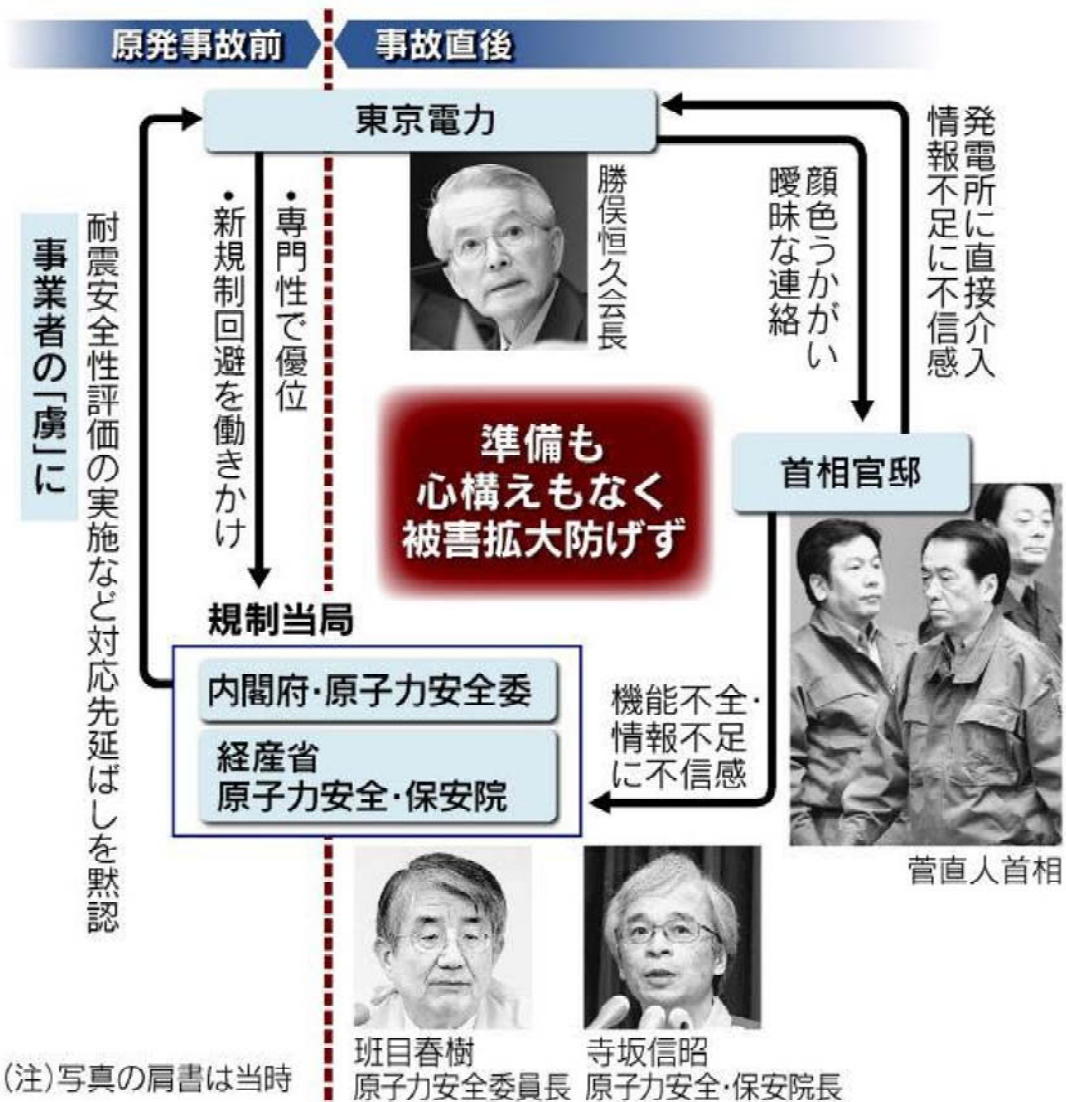


指摘しているが、それまでに安全委員会の委員長が政府に対してどの程度の報告書を提出していたのか、政府が無視したのか、国は電力会社を監督・指導の権限を放棄していたのか。

「規制側が癒着、監視骨抜き状態、東電の虜になっていた」

と報告書では指摘している。

国会事故調が指摘した東電と規制当局、官邸の関係



事故後

東電側のこれまで地震による重要機器の損傷、破損はなく、事故後の原発操作に問題は無かったと主張してきた。しかし国会事故調の報告では、緊急時に原子炉を冷やす機器が地震で壊れた可能性があり、それによって冷却水が漏れるのを怖れて、